

ヘルステック企業の調査と企業連携の可能性

継続的な顧客獲得スキームの一つとして企業連携を開始

現地のヘルステック企業の調査を目的として、カンボジア・ベトナム両国でオンラインでの面談を実施。その中でB to B to Cのスキームで想定される企業連携について、複数の企業から前向きな返答をもらい、MOU/NDA締結を進めるとともに事業稼働に向けた話し合いを重ねている。

■ カンボジアにおけるヘルステック企業

- ヘルステック企業として5社程度が挙げられる。
- サービス内容としては、大きく「遠隔診療、遠隔相談」「病院検索、医療メディア」に分類される。そのうち「遠隔診療・遠隔相談」は特に企業数が多く、遠隔診療市場は拡大傾向にある。
- 現地ヘルステック企業A社と今後の協業の可能性に関して議論を進めている。遠隔診療、訪問検査、薬の配達とプライマリケアサービスをワンストップで行っている企業であり、オンライン診療のプラットフォームを有し、本事業と大変親和性が高いと考えている。

■ ベトナムにおけるヘルステック企業

- ヘルステック企業として15社程度が挙げられる。
- サービス内容としては、「遠隔診療、遠隔相談、ホームケア」「病院検索、医療メディア」「プライマリケア」の3つのカテゴリーに分類される。遠隔診療市場は、カンボジア同様COVID-19による外出規制や混雑緩和などの影響から急速に拡大している。
- 現段階において、遠隔リハビリサービスを提供している競合はいないが、遠隔診療サービスや在宅リハビリを提供している企業は存在する。
- クリニックを所有し、オンラインでのサービス提供の経験が豊富な現地ヘルステック企業B社は本事業との親和性が高いと思われ、協業に向けた検討を重ねている。ベトナムでプライマリケアの役割を果たしている薬局との、協業可能性についても検討していく。